

第137回近畿産科婦人科学会学術集会
プログラム・講演抄録

会 期：平成29年10月29日(日)

会 場：和歌山県JAビル

近畿産科婦人科学会 会長 根 来 孝 夫
学術集会長 井 筧 一 彦

(注意：当日は抄録集を発行いたしませんので、必ず本誌をご持参ください)

第137回近畿産科婦人科学会学術集会 ご案内

会 期：平成29年10月29日（日）8：20～17：30

会 場：和歌山県JAビル

〒640-8331 和歌山市美園町5-1-1

TEL：073-488-5641 FAX：073-426-5320

第1会場：和ホールBC（2階）

（開会式，周産期研究部会，日産婦伝達講習会，ランチョンセミナー1，
指導医講習会，周産期シンポジウム）

第2会場：和ホールA（2階）

（生殖内分泌・女性ヘルスケア研究会，日産婦伝達講習会同時中継，
ランチョンセミナー3，日産婦医会委員会ワークショップ，日産婦医会講演）

第3会場：11-AB（11階）

（腫瘍研究部会，ランチョンセミナー2，スポンサード教育講演，
医療安全講習会，日産婦伝達講習会（ビデオ上映））

＜講習会単位のご案内＞

* 下記のセッションにおいて単位を付与いたします。

13：40～14：40	共通講習 （指導医）	1単位	指導医講習会「新専門医制度について」 *入室時参加登録
13：40～14：40	産婦人科領域講習	1単位	スポンサード教育講演「卵巣癌に対する薬物療法— 分子標的治療の導入はなにをもたらすか？」 *入室時参加登録
14：55～17：15	産婦人科領域講習	1単位	周産期シンポジウム「妊娠婦が安心して満足できる分 娩を目指して」 *入室時参加登録
14：55～15：55	共通講習 （医療安全）	1単位	医療安全講習会「現場で実践すべき医療安全～最近 の話題を中心に～」 *入室時参加登録
15：50～17：10	産婦人科領域講習	1単位	日本産婦人科医会，日本対がん協会共同シンポジウム 「子宮がん検診 新たな夜明け」 *入室時参加登録

【参加登録方法】

各講習会場で「e医学会カード」のバーコードを読み取ることで参加登録を行います。

ご出席の先生は必ず「e医学会カード」にて参加登録を行ってください。

参加登録は入室時（セッション開始15分前から開始10分後の間）に行います。

*日本産科婦人科学会会員で「e医学会カード」を紛失等でお持ちでない方は運転免許証等ご本人確認の上、登録確認を行います。

<学会参加者へのご案内>

*学会参加費5,000円を会場受付で申し受けます。その際、参加章（領収書）をお受け取りください。クレジットカードでのお支払いはできません。初期研修医・医学生の学会参加費は無料です。

*周産期シンポジウムにおきまして、近畿産科婦人科学会会員以外の助産師・看護師・助産学生の方が周産期シンポジウムに参加される場合の参加費は無料です。会場の受付にて、職員証・学生証をご提示した上で、氏名と所属先をご記名いただき、名札をお受け取りください。周産期シンポジウムの会場内におきましては、必ず名札の着用をお願いいたします。なお、会場の収容人数に限りがありますので、大変申し訳ございませんが、助産師・看護師・助産学生の方で参加を希望される方は、各施設で数名単位の少人数でのご参加をお願い申し上げます。

<各種研修証明について>

*日本産科婦人科学会専門医 研修出席証明：10単位

「e医学会カード（UMINカード，日本産科婦人科学会発行）」を利用いたします。

会員の皆様は「e医学会カード」をご持参の上、受付にてお申し出ください。

*日本産科婦人科医学会研修参加証：シールを1枚発行いたします。受付にてお申し出ください。

< 学会場案内図 >

■会場：和歌山県JAビル

〒640-8331 和歌山市美園町5-1-1

TEL：073-488-5641 FAX：073-426-5320

■交通のご案内

< 電車でお越しの場合 >

JR和歌山駅（中央改札口）から西へ徒歩約2分

・京都から特急くろしおで90分

・新大阪から特急くろしおで60分

・大阪から紀州路快速で80分

・天王寺から特急くろしおで45分

< 関西空港からお越しの場合 >

和歌山駅直行リムジンバスで約40分

< お車でお越しの場合 >

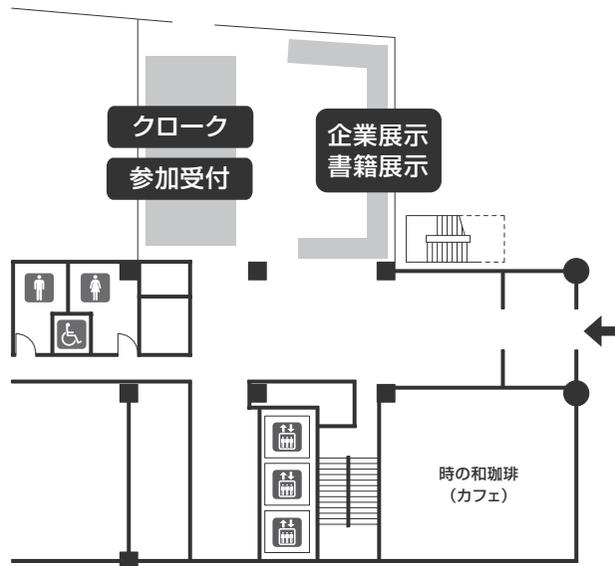
和歌山ICから和歌山市街方向へ約20分

※会場に駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。



< 各会場案内図 >

■ 1 F



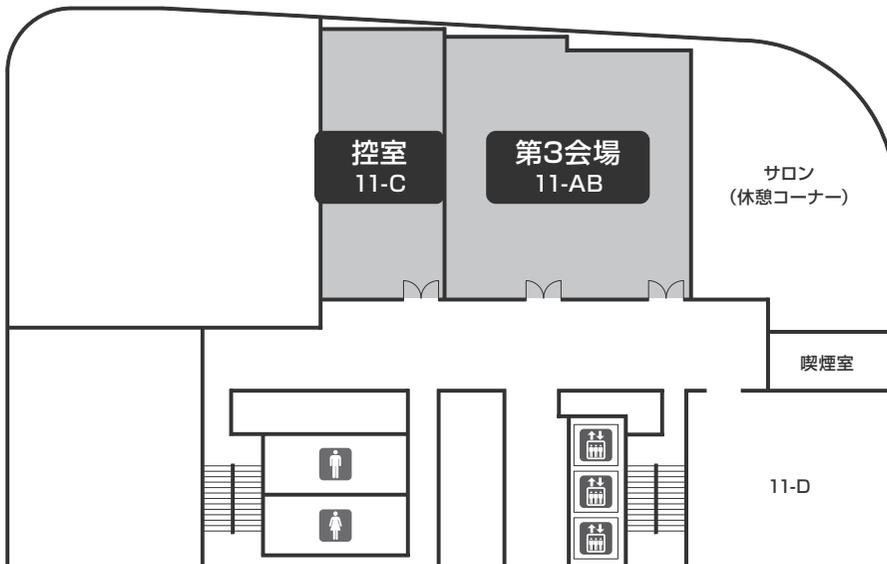
■ 2 F



■ 8 F



■ 11 F



学会進行表

■平成29年10月29日（日）

	第1会場 (和ホールBC)	第2会場 (和ホールA)	第3会場 (11-AB)	
8:20	開会式			
8:30	周産期研究部会 テーマ「妊娠高血圧症候群 による臓器障害発症とその 臨床管理を考える」	生殖内分泌・ 女性ヘルスケア研究部会 テーマ「多嚢胞性卵巣症候 群（PCOS）と卵巣過剰刺 激症候群（OHSS）」	腫瘍研究部会 テーマ「細胞診における子 宮頸部腺系病変の取り扱い について」	
8:50 9:00				
11:30				
11:40	日産婦伝達講習会 座長：井篁一彦 演者：久具宏司	日産婦伝達講習会 同時中継会場		
12:10				
12:25	ランチョンセミナー1 (バイエル薬品) 座長：木村 正 演者：大須賀穰	ランチョンセミナー3 (大塚製薬) 座長：山田秀人 演者：武田 卓	ランチョンセミナー2 (持田製薬) 座長：北脇 城 演者：吉野 修	
13:25				
13:40	指導医講習会 座長：大道正英 演者：松村謙臣 (P)	日産婦医会委員会 ワークショップ 座長：曾和正憲, 安井智代 演者：菅沼信彦, 西尾幸浩 中井恭子, 中村光作 馬淵泰士	スポンサード教育講演 (中外製薬) 座長：井篁一彦 演者：万代昌紀 (P)	
14:40				
14:55	周産期シンポジウム 座長：中後 聡 森實真由美 演者：山本 亮 金沢路子 川又睦子 谷口 武 (P)		医療安全講習会 座長：南佐和子 演者：水本一弘	15:40
15:50				
16:00		日本産婦人科医会・ 日本対がん協会 共同シンポジウム 座長：井篁一彦, 根来孝夫 演者：鈴木光明, 黒川哲司 (P)	日産婦伝達講習会 (ビデオ上映)	15:55 16:30
17:15	閉会式 (P)			17:10

※(P) …単位付与対象セッション

■10月29日（日）

日産婦伝達講習会

●11：40～12：10 第1会場（和ホールBC）

「“経”からの解放—妊娠・分娩回数のおえ方の統一—」

座長：和歌山県立医科大学産科婦人科学講座教授

井 篁 一 彦 先生

演者：東京都立墨東病院産婦人科部長

公益社団法人日本産科婦人科学会用語委員会副委員長

久 具 宏 司 先生

ランチオンセミナー

●12：25～13：25 第1会場（和ホールBC）

1. 「月経困難症・子宮内膜症治療の新時代～女性活躍時代の薬物療法～」

座長：大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学講座産科学婦人科学教授

木 村 正 先生

演者：東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座教授

大 須 賀 穰 先生

共催：バイエル薬品株式会社

●12：25～13：25 第3会場（11-AB）

2. 「子宮筋腫・子宮腺筋症治療へのストラテジー」

座長：京都府立医科大学大学院医学研究科女性生涯医科学教授

北 脇 城 先生

演者：富山大学医学薬学研究部産科婦人科学教室准教授

吉 野 修 先生

共催：持田製薬株式会社

●12：25～13：25 第2会場（和ホールA）

3. 「女性の活躍促進と大豆～スーパーイソフラボン「エクオール」の可能性～」

座長：神戸大学大学院医学研究科外科系講座産科婦人科学分野教授

山 田 秀 人 先生

演者：近畿大学東洋医学研究所所長・教授

武 田 卓 先生

共催：大塚製薬株式会社

指導医講習会

● 13：40～14：40 第1会場（和ホールBC）

「新専門医制度について」

座長：大阪医科大学産婦人科学教室教授

大道正英先生

演者：近畿大学医学部産科婦人科学教室教授

松村謙臣先生

スポンサード教育講演

● 13：40～14：40 第3会場（11-AB）

「卵巣癌に対する薬物療法—分子標的治療の導入は何をもたらすか？」

座長：和歌山県立医科大学産科婦人科講座教授

井篁一彦先生

演者：京都大学大学院医学研究科器官外科学講座産婦人科学産科学分野教授

万代昌紀先生

共催：中外製薬株式会社

周産期シンポジウム

テーマ「妊産婦が安心して満足できる分娩を目指して」

● 14：55～17：15 第1会場（和ホールBC）

座長：社会医療法人愛仁会高槻病院総合周産期母子医療センター長・産婦人科主任部長

中後聡先生

神戸大学大学院医学研究科外科系講座産科婦人科学分野講師

森實真由美先生

「分娩時の胎児機能不全に対する対応」

演者：大阪府立病院機構大阪母子医療センター産科・診療主任 山本亮先生

「当院の産科麻酔チームの取り組み～安心して満足できるお産を目指して～」

演者：関西医科大学附属病院麻酔科助教

金沢路子先生

「院内助産院での分娩から見える、妊産婦が求める「お産」とは」

演者：社会医療法人愛仁会千船病院MFICU科長・助産師

川又睦子先生

「高齢出産時代の育児不安解消を目指した母乳育児支援」

演者：医療法人定生会谷口病院院長

谷口武先生

医療安全講習会

● 14:55～15:55 第3会場 (11-AB)

「現場で実践すべき医療安全～最近の話題を中心に～」

座長：和歌山県立医科大学総合周産期母子医療センター病院教授

南 佐 和 子 先生

演者：和歌山県立医科大学附属病院医療安全推進部病院教授 水 本 一 弘 先生

日本産婦人科医会・日本対がん協会共同シンポジウム

テーマ「子宮がん検診 新たな夜明け」

● 15:50～17:10 第2会場 (和ホールA)

座長：和歌山県立医科大学産科婦人科学講座教授

井 籠 一 彦 先生

和歌山県産婦人科医会会長

根 来 孝 夫 先生

「LBC/HPV 検査併用子宮頸がん検診の有用性」

演者：日本産婦人科医会常任理事，

新百合ヶ丘総合病院がんセンター センター長

鈴 木 光 明 先生

「子宮内膜細胞診の診断精度向上への取り組み—液状化検体法導入の試み—」

演者：福井大学医学部附属病院産科婦人科准教授

黒 川 哲 司 先生

研究部会プログラム

■平成29年10月29日 (日)

【第103回腫瘍研究部会 (第3会場 11-AB)】

(8:50~11:31)

開会のあいさつ (8:50~8:55)

代表世話人：小林 浩

テーマ：「細胞診における子宮頸部腺系病変の取り扱いについて」

セッションⅠ (8:55~9:15)

座長：小林 浩

「細胞診における子宮頸部腺系病変の取り扱いについて：オーバービュー」

豊田 進司

(奈良県総合医療センター)

(発表6分, 質疑2分)

セッションⅡ (9:15~10:03)

座長：吉野 潔

1. 「小細胞癌と胃型頸部腺癌を合併した子宮頸癌の1例」

尾谷 功¹⁾, 小林 智子¹⁾, 竹中 由夏¹⁾, 谷本 敏¹⁾, 矢本 希夫²⁾

(和歌山労災病院¹⁾, 女性診療科²⁾)

2. 「当科におけるAGCについての検討」

原 武也, 三好 愛, 亀井 裕史, 涌井 菜央, 藤城 亜貴子, 金尾 世里加, 直居 裕和,
大塚 博文, 長松 正章, 横井 猛 (泉州広域母子医療センター市立貝塚病院)

3. 「頸部細胞診のAGCに含まれる多彩な浸潤癌」

熊谷 広治¹⁾, 坂井 昌弘¹⁾, 前田 隆義¹⁾, 山崎 由香子²⁾, 山内 直樹²⁾, 森島 英和²⁾,
眞寄 武³⁾ (大阪鉄道病院¹⁾, 同臨床検査室病理²⁾, 同病理診断科³⁾)

4. 「当院における頸部細胞診AGC判定例の後方視的検討」

神田 瑞希, 伊藤 風太, 松山 達也, 金森 玲, 島津 由紀子, 田口 貴子, 脇本 哲,
岩宮 正, 隅藏 智子, 竹村 昌彦 (大阪急性期・総合医療センター)

5. 「当院での子宮頸部細胞診AGC症例に対する最終診断の後方的検討」

神野 友里¹⁾, 久松 武志¹⁾, 手向 麻衣¹⁾, 大歳 愛由子¹⁾, 徳川 睦美¹⁾, 塚原 稚香子¹⁾,
柏原 宏美¹⁾, 宮武 崇¹⁾, 久本 浩司¹⁾, 西尾 幸浩¹⁾, 辻本 正彦²⁾

(大阪警察病院¹⁾, 同病理診断科²⁾)

6. 「子宮頸部細胞診における異型腺細胞の取り扱いに関する検討」

植田 彰彦, 石川 行良, 通 あゆみ, 西川 毅, 角井 和代 (大阪府済生会野江病院)

セッションⅢ (10:03~10:51)

座長: 蝦名 康彦

7. 「当院におけるAtypical Glandular Cells (AGC) 判定の転帰」

田中 稔恵, 吉野 潔, 岩宮 正, 岡澤 晶子, 瀧内 剛, 小玉 美智子, 橋本 香映,
小林 栄仁, 馬淵 誠士, 上田 豊, 富松 拓治, 澤田 健二郎, 木村 正 (大阪大学)

8. 「当科で子宮頸部細胞診で「AGC」と判定された症例について」

寺田 信一, 田中 良道, 土橋 裕允, 橋田 宗祐, 丸岡 寛, 古形 祐平, 芦原 敬允,
前田 和也, 藤原 聡枝, 兪 史夏, 田中 智人, 恒遠 啓示, 佐々木 浩, 寺井 義人,
大道 正英 (大阪医科大学)

9. 「当院のAGCの管理」

笠井 真理, 松原 裕明, 植村 遼, 川西 勝, 和田 卓磨, 田坂 玲子, 福田 武史,
橋口 裕紀, 市村 友季, 安井 智代, 角 俊幸 (大阪市立大学)

10. 「当院でAGCと判定された症例についての後方視的検討」

久松 洋司, 木戸 健陽, 生田 明子, 佛原 悠介, 村田 紘未, 溝上 友美, 吉村 智,
北 正人, 岡田 英孝 (関西医科大学)

11. 「AGC症例の組織学的転帰と臨床背景に関する検討」

杉本 澄美玲, 佐々木 義和, 長安 実加, 岩井 加奈, 新納 恵美子, 森岡 佐知子,
山田 有紀, 棚瀬 康仁, 川口 龍二, 小林 浩 (奈良県立医科大学)

12. 「子宮頸部細胞診でAGCと判定された70例の検討」

井手本 尚子, 安部 倫太郎, 臼井 淳子, 公森 摩耶, 松木 貴子, 柳井 咲花,
村上 誠, 徳山 治, 川村 直樹 (大阪市立総合医療センター)

セッションⅣ (10:51~11:31)

座長: 北 正人

13. 「当科におけるAGCについて」

山中 彰一郎, 豊田 進司, 森田 小百合, 竹田 善紀, 杉本 ひとみ, 石橋 理子,
伊東 史学, 渡邊 恵, 杉浦 敦, 平野 仁嗣, 井谷 嘉男, 喜多 恒和
(奈良県総合医療センター)

14. 「子宮頸部腺系病変に正常大右卵巢由来の粘液性腺癌を伴った1症例」

奈倉 道和, 渡部 光一, 菅 智美, 中島 正敬 (長浜赤十字病院)

15. 「Atypical glandular cellsの病理組織学的転帰と臨床意義」

生駒 直子¹⁾, 中村 雅子¹⁾, 張 波¹⁾, 杉本 澄美玲²⁾, 金山 清二¹⁾, 浦 雅彦¹⁾,
福森 恭代³⁾, 若狭 朋子³⁾, 太田 善夫³⁾, 大井 豪一¹⁾
(近畿大学医学部奈良病院¹⁾, 奈良県立医科大学²⁾, 近畿大学医学部奈良病院病理診断科³⁾)

16. 「当院における子宮頸部腺癌およびAGCの症例の検討」

岡本 葉留子, 門元 辰樹, 増田 望穂, 柳川 真澄, 前田 裕斗, 山添 紗恵子,
崎山 明香, 松林 彩, 中北 麦, 小林 史昌, 林 信孝, 小山 瑠梨子, 大竹 紀子,
富田 裕之, 上松 和彦, 青木 卓哉, 吉岡 信也 (神戸市立医療センター中央市民病院)

17. 「子宮頸部細胞診AGC症例の病理組織学的検討と転帰」

川口 徹也, 蝦名 康彦, 今福 仁美, 鈴木 嘉穂, 若橋 宣, 宮原 義也,
山田 秀人 (神戸大学)

■平成29年10月29日（日）

【周産期研究部会（第1会場 和ホールBC）】

(8:30~11:30)

開会のあいさつ

代表世話人：山田 秀人

当番世話人：中本 収

テーマ：「妊娠高血圧症候群による臓器障害発症とその臨床管理を考える」

(発表8分, 質疑2分)

I. 高度浮腫性病変管理 (8:30~9:20)

座長：丸尾 伸之

1. 「妊娠高血圧腎症に漿液性網膜剥離を合併した1例」

松木 貴子, 中村 博昭, 井上 基, 松木 厚, 公森 摩耶, 田原 三枝, 西本 幸代,
田中 和東, 中本 収 (大阪市立総合医療センター 総合周産期センター産科)

2. 「産後に網膜剥離を生じVogt-小柳-原田病と診断された妊娠高血圧症候群の1例」

本多 秀峰, 山本 幸代, 宇田 元, 山本 実咲, 永瀬 慶和, 北井 俊大, 谷口 友基子,
磯部 晶, 増原 完治, 信永 敏克 (兵庫県立西宮病院)

3. 「肺水腫を合併した妊娠高血圧腎症に対し分娩前よりフロセミドにて治療を行った1例」

松木 厚, 田中 和東, 井上 基, 公森 摩耶, 松木 貴子, 田原 三枝, 西本 幸代,
中村 博昭, 中本 収 (大阪市立総合医療センター 総合周産期母子医療センター産科)

4. 「心不全を合併した妊娠高血圧に伴う肺水腫の3例」

稲葉 尚美, 石原 あゆみ, 杉本 麻帆, 藤田 由布, 中野 瑛理, 柴田 綾子,
三上 千尋, 陌間 亮一, 田中 達也, 丸尾 伸之 (淀川キリスト教病院)

高度浮腫性病変管理に関する総合討論 (10分)

II. 中枢神経障害・臓器障害管理 (9:20~10:40)

座長：近藤 英治, 笠松 敦

5. 「妊娠高血圧症から脳卒中を発症した2例」

荻本 圭祐, 三上 千尋, 杉本 麻帆, 藤田 由布, 石原 あゆみ, 柴田 綾子,
中野 瑛理, 陌間 亮一, 田中 達也, 伊熊 健一郎, 丸尾 伸之

(淀川キリスト教病院)

6. 「当院で経験された妊娠高血圧症候群合併子癇発作4症例における後方視的検討」

門元 辰樹, 岡本 葉留子, 柳川 真澄, 前田 裕斗, 増田 望穂, 山添 紗恵子,
崎山 明香, 中北 麦, 松林 彩, 林 信孝, 小林 史昌, 小山 瑠梨子, 大竹 紀子,
富田 裕之, 上松 和彦, 青木 卓哉, 吉岡 信也 (神戸市立医療センター中央市民病院)

7. 「Posterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) 10例の検討」

西端 修平, 吉田 彩, 笠松 敦, 副島 周子, 安原 由紀, 横江 巧也, 黒田 優美,
小林 直子, 松本 みお, 生駒 洋平, 榎木 晋, 岡田 英孝 (関西医科大学)

8. 「HELLP症候群, 高カリウム血症, 子癇発作および脳出血を呈した1例」
高瀬 亜紀, 三枚 卓也, 栗原 康, 植村 遼, 林 雅美, 横井 夏子, 片山 浩子,
羽室 明洋, 中野 朱美, 橘 大介, 古山 将康 (大阪市立大学)
9. 「HELLP症候群の血小板数低下への対応」
井上 基, 西本 幸代, 松木 厚, 公森 摩耶, 松木 貴子, 田原 三枝, 田中 和東,
中村 博昭, 中本 收 (大阪市立総合医療センター 総合周産期母子医療センター産科)
10. 「HELLP症候群に対しMississippi Protocolに基づく治療を行った8例の検討」
三谷 尚弘, 城 道久, 松下 彩葉, 中田 久実子, 南 佐和子, 井篁 一彦
(和歌山県立医科大学)
11. 「非侵襲的陽圧換気療法を併用し妊娠を継続しえた妊娠24週partial HELLP症候群の1例」
濱田 航平, 千草 義継, 近藤 英治, 上田 優輔, 河原 俊介, 最上 晴太,
万代 昌紀 (京都大学)
- 中枢神経障害・HELLP症候群管理に関する総合討論 (10分)

Ⅲ. 分娩周辺期の高血圧管理 (10:40~11:30)

座長: 佐道 俊幸

12. 「娩出時期の決定に苦慮した加重型妊娠高血圧腎症の1例」
鈴木 陽介, 北野 佐季, 八木 茉莉, 村上 淳子, 中村 涼, 高尾 映美子,
松元 香揚子, 奥野 健太郎, 早田 憲司 (愛染橋病院)
13. 「硫酸Mgおよびニカルジピンで妊娠管理した注射液の長期投与加重型妊娠高血圧腎症早発型の2例」
松木 厚, 田中 和東, 井上 基, 公森 摩耶, 松木 貴子, 田原 三枝, 西本 幸代,
中村 博昭, 中本 收 (大阪市立総合医療センター 総合周産期母子医療センター産科)
14. 「産褥に診断された副腎腫瘍の2例~二次性高血圧の鑑別の重要性~」
大門 篤史, 藤田 太輔, 太田 沙緒里, 布出 実紗, 永易 洋子, 岡本 敦子, 佐野 匠,
鈴木 裕介, 寺井 義人, 大道 正英 (大阪医科大学)
15. 「重症妊娠高血圧腎症術後に周産期心筋症をきたした1例」
大西 俊介, 常見 泰平, 橋口 康弘, 山尾 佳穂, 中野 和俊, 赤坂 珠理晃,
藤井 絵里子, 佐道 俊幸, 小林 浩 (奈良県立医科大学)
- 分娩周辺期の高血圧管理総合討論 (10分)

■平成29年10月29日（日）

【生殖内分泌・女性ヘルスケア研究部会（第2会場 和ホールA）】

(9:00~11:30)

開会のあいさつ

代表世話人：柴原 浩章

テーマ：「多嚢胞性卵巣症候群（PCOS）と卵巣過剰刺激症候群（OHSS）」

(発表6分，質疑3分)

(9:00~10:00)

一般演題

司会・座長：熊澤 恵一

1. 「胎児共存奇胎に合併したOHSSの1例」

神田 昌子，味村 和哉，熊澤 恵一，木村 正 (大阪大学)

2. 「OHSSとの鑑別を要した多房性卵巣腫瘍に対し，腹腔鏡下卵巣多孔術を施行した1症例」

小林 直子，都築 朋子，横江 巧也，吉村 智雄，岡田 園子，北 正人，
岡田 英孝 (関西医科大学)

3. 「OHSSに伴う大量腹水に対し腹水濾過濃縮再静注法（CART）が有用であった1例」

花田 哲郎，木村 文則，森宗 愛菜，竹林 明枝，高島 明子，村上 節
(滋賀医科大学)

4. 「当科で管理した卵巣過剰刺激症候群の3症例」

梅澤 奈穂，尹 純奈，和田 あずさ，大八木 知史，福田 綾，筒井 建紀
(JCHO大阪病院)

5. 「排卵誘発から1週後に外因性hCGにより卵巣過剰刺激症候群を発症した1例」

香林 正樹，熊澤 恵一，山田 光泰，桑鶴 知一郎，福田 弥生，小泉 花織，瀧内 剛，
中村 仁美，木村 正 (大阪大学)

6. 「当院におけるPCOS女性に対する不妊治療成績」

浮田 祐司^{1,2)}，小林 眞一郎¹⁾，浮田 美里²⁾，杉山 由希子²⁾，藤井 雄太²⁾，竹山 龍²⁾，
森本 篤²⁾，森本 真晴²⁾，加藤 徹²⁾，脇本 裕²⁾，福井 淳史²⁾，柴原 浩章²⁾
(Kobaレディースクリニック¹⁾，兵庫医科大学²⁾)

(10:00~10:45)

司会：熊澤 恵一

兵庫医科大学アンケート報告

座長：木村 正

「円錐切除後の不妊治療」

(10:45~11:30)

司会：熊澤 恵一

基調講演

座長：木村 正

「総合病院における生殖医療に関して」

演者：倉敷中央病院産婦人科 本田 徹郎

閉会のあいさつ

当番世話人：木村 正